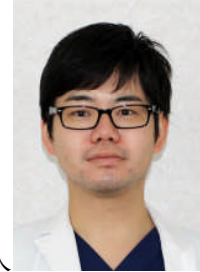


和歌山病院での実習を終えて



瀬戸 寛人

私は学生時代に選択ポリクリでこの和歌山病院に勉強に来させていただいたことがあり、南方院長先生の胸部レントゲン読影塾や、外科志望のため手術にも入らせていただけたりと、そのときの実習が非常に有意義であったので、今度は研修医として再度この病院で研修させていただくことにしました。

外来では、6年生の時は予診を担当させていただきましたが、今回は初診の患者さんの診察から検査オーダーを立てて、それら結果から治療方針を決定し、その後のフォローを外来でという一連の流れを、もちろん上級医の指導のもとではありますが、経験させていただきました。これまでの研修で外来診療をすることは少なかったので、非常に良い予行演習になったと思います。外来以外にも、学生時代は見学のみであった、気管支内視鏡や胸腔穿刺などの手技を積極的にやらせていただき経験を重ねることができました。

短い研修期間であり、今回は『南方塾』にあまり参加できなかったことは少々心残りではありますが、この1ヵ月間諸先生方、事務の方々、医療クラークさんはじめたくさんの方にお世話になりました。ありがとうございました。